

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実施実績・見込及び令和3年度実施予定）

資料 1

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和2年度			令和3年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
1	競技大会	全世代	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	とまこまいマラソンを開催する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	開催日時等の実施内容を検討中
2	競技大会	全世代	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	バドミントン、卓球、ソフトテニス、スポンジテニス、ミニバレー、フロアカーリング、パークゴルフの7競技の市民大会を開催し、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを図る。	3競技を開催し、R1年度を650名下回る751名の参加となった。 ・卓球 233名 ・パークゴルフ 180名 ・ソフトテニス 338名	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・H29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	同内容で継続実施
3	競技大会	子ども	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・トヨタ自動車北海道（株）と協力し事業実施	3月下旬にカナダ選手団が本市を訪問予定
4	競技大会	子ども	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図る。	12月5日（土）、6日（日）、13日（日）に開催し、R1年度を3人上回る105人の参加となった。	A (順調に実施)	・H29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	同内容で継続実施
5	イベント・教室	全世代	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	年5回のウォーキングスタンプラリーを開催し、自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを行う。	・8月1日から10月31日月まで各自でコースを設定し行うウォーキングスタンプラリーを実施し、967人の参加となった。 ・10月24日（土）にウォーキングフェスティバルを金太郎の池で実施し、R1年度を70人下回る153人の参加となった。	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	6月から9月まで月1回のウォーキングスタンプラリーを実施予定 10月にウォーキングフェスティバルを実施予定
6	イベント・教室	全世代	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	3地区（糸井、中央南、勇払）でスポーツフェスティバルを実施し、R1年度を1,117人下回る298人の参加となった。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
7	イベント・教室	全世代	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	11月31日時点で12施設60,489名の参加となっている。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
8	イベント・教室	全世代	2020東京オリンピック・パラリンピック開催事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、聖火リレーの実施と本市出身の出場者を応援するパブリックビューイングを開催する。	令和3年度へ延期（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)		・6月14日（月）に聖火リレーを実施予定 ・丹羽孝希選手（卓球男子代表）の壮行会と、メダルがかかった試合においてパブリックビューイングを実施予定
9 (新)	イベント・教室	全世代	北京オリンピックアイスホッケー女子日本代表の応援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	2021北京冬季オリンピックに出場するアイスホッケー女子日本代表を応援する事業を実施する。	令和3年度新規事業			壮行会とパブリックビューイングを実施予定
10	イベント・教室	障がい者	フライングディスク教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道フライングディスク連盟の加賀洋一氏を講師としてお迎えし、フライングディスク教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	同内容で継続実施
11	イベント・教室	障がい者	ボッチャ教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道ボッチャ協会理事長の樋口幸治氏を講師としてお迎えし、ボッチャ教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	同内容で継続実施
12	イベント・教室	障がい者	車椅子バスケット教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧WBCの野本孝紀氏と松村和臣氏を講師としてお迎えし、車椅子バスケットボール教室を開催する。	3月13日（土）に福祉ふれあいセンターで開催予定。		・福祉部とも連携	同内容で継続実施

# 苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実施実績・見込及び令和3年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和2年度			令和3年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
13	イベント・教室	障がい者	パラアイスホッケー教室	総合政策部スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	日本代表の須藤悟氏と廣瀬進氏を講師としてお迎えし、パラアイスホッケー教室を開催する。	1月30日（土）に新ときわスケートセンターで開催予定。		・福祉部とも連携	同内容で継続実施
14 (新)	イベント・教室	障がい者	フロアカーリング教室	総合政策部スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	年代や健康状態に関わらず誰でも楽しめるニュースポーツであるフロアカーリングの教室を開催する。	2月20日（土）に福祉ふれあいセンターで開催予定。		・スポーツ推進委員も協力 ・福祉部とも連携	同内容で継続実施
15	イベント・教室	障がい者	パラスポーツ体験会	総合政策部スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	2020東京パラリンピック開催前に、パラスポーツ体験を実施することで、市民へのパラスポーツの周知・振興と障がい者の社会への参加につなげていく。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	同内容で継続実施
16	イベント・教室	高校生	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)		8月3日（火）から8日（日）まで白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ、新ときわスケートセンターで開催予定
17	イベント・教室	子ども	地域スポーツクラブ支援事業	総合政策部スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・セガサミーホールディングス（株）と協力し、ジュニアスポーツ教室を開催	2競技を対象に実施予定
18	イベント・教室	子ども	スポーツマスター事業	総合政策部スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツの分野において輝かしい活躍をしたスポーツマスターによる教室を実施し、市民スポーツの向上を図る。	・11月29日（日）に佐藤スポーツマスター（北京五輪銅メダリスト）による中学生以下のジュニア選手を対象とした水泳教室を実施し、27名の参加となった。 ・2月23日（火・祝）に本間スポーツマスター（元王子製紙・五輪出場）による小学生アイスホッケー教室を実施予定。	A (順調に実施)		アイスホッケー教室と水泳教室を同内容で継続実施
19	イベント・教室	子ども	氷上スポーツ育成事業	総合政策部スポーツ都市推進課	3 次代になう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	幼児を対象とした氷上スポーツ教室を開催し、遊びやゲームを通じて楽しさを体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。	スピードスケート教室はR1年度を8名下回る10名、アイスホッケーを指導するエンジョイスクールはR1年度を84名下回る157名の参加となった。	B (概ね順調に実施)	・スピードスケート体験教室を平成29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	・スピードスケート教室の実施 ・エンジョイスクール（アイスホッケー・スケート教室）の実施 ・アイスホッケー用具販売の実施
20	イベント・教室	子ども	児童の健全育成	健康こども部青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図り、また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。	11月31日時点で7施設81,475人の来館となっている。	A (順調に実施)		様々なボール遊びなどの運動を実施。活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布する。
21	イベント・教室	高齢者	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	総合体育館で実施予定（現時点では実施日未定）
22	イベント・教室	観戦者	トップアスリートの試合開催	総合政策部スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	・アイスホッケーアジアリーグジャパンカップが10月10日（土）から開催中。	A (順調に実施)		・アイスホッケーアジアリーグを開催予定
23	イベント・教室	観戦者	王子イーグルスとの協働事業	総合政策部スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	本市をホームとするアイスホッケーアジアリーグの王子イーグルスとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、王子イーグルスへの支援及び応援活動を推進する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)		・運営形態変更のため、新たに包括連携協定を締結予定 ・新運営会社と内容を協議の上、実施内容を検討予定

# 苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実施実績・見込及び令和3年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和2年度			令和3年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
24 (新)	イベント・教室	観戦者	Safilva北海道との協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	本市をサブホームタウンとするバレーボールV2リーグのSafilva北海道との協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、Safilva北海道への支援及び応援活動を推進する。	令和3年度新規事業			・本市で開催する公式試合において応援事業を実施予定 ・子ども向けバレーボール教室を実施予定
25	イベント・教室	観戦者	青森県八戸市との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、両市で開催されるアジアリーグアイスホッケーにおいて、両チームの小学生選抜チームによる交流試合を行うことで会場を盛り上げ、互いの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)		同内容で継続実施
26	補助・助成	全世代	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	小・中学校の体育館や校庭を市民のスポーツ活動に開放し、青少年の健全育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言により、学校開放事業を休止、宣言解除後、校庭の利用を再開するも、体育館においては再開の目途が立っていない。（少年団については、6月下旬より学校使用許可において活動を再開している。）	C (やや遅れて実施)		市内の小学校22校、中学校3校を開放予定
27	補助・助成	子ども	大会遠征費助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツ振興を目的とした国際大会出場者と、小・中・高校生の全道・全国大会出場者について、その経費の一部を補助する。	12月31日時点で28件2,466,142円の補助を行った。	A (順調に実施)		・国際大会出場者への奨励金の交付 ・小・中学生の全道・全国大会への出場経費の一部助成 ・高校・大学生の全国大会への出場経費の一部を助成
28	補助・助成	高齢者	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけではなく生きがいづくりを図る。	12月31日時点で各施設において134枚を配布している。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
29	補助・助成	町内会	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をにぎう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	町内でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	12月31日時点で6町内会376,500円の助成を行った。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
30 (新)	補助・助成	市内競技者	スポーツ大会感染拡大防止対策支援事業助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	本市で開催されるスポーツ大会について、感染対策に係る経費の一部を助成する。	12月31日時点で9団体341,296円の助成を行った。	A (順調に実施)		未定
31	利用促進	全世代	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。	12月31日時点でスポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント6事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。	A (順調に実施)		対象を変更して実施
32	利用促進	市内競技者	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	白鳥王子アイスアリーナ電光掲示板の改修を実施した。	A (順調に実施)		R5年度開催のインターハイに向けた緑ヶ丘後援庭球場の改修を実施予定。
33	利用促進	市内競技者	スポーツ施設の一体管理	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	総合・川沿公園・日吉体育館と緑ヶ丘公園内スポーツ施設（ハイランドスポーツセンター・とましんスタジアム・清水野球場・少年野球場・庭球場・サッカー場・陸上競技場）の一体管理を継続して行った。	B (概ね順調に実施)		継続して実施
34	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿等助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	12月31日時点で19件1,001,000円の補助を行った。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施

# 苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和2年度実施実績・見込及び令和3年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和2年度			令和3年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
35	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿の誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、本市の優位性をPRする。	2月に首都圏の各競技団体や企業、大学を訪問し合宿誘致活動を実施予定。		・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
36	利用促進	市外競技者	全国・全道大会開催誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	本市の魅力や道内外に情報発信する他、開催補助金により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	12月31日時点で3件450,000円の補助を行った。	A (順調に実施)		13大会が申請予定
37	利用促進	市外競技者	アイスホッケー競技NTC事業の推進	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支える世界で活躍する選手を育み応援	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	北京オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行っている。	A (順調に実施)	・平成20年度から文部科学省（現担当：スポーツ庁）より拠点指定 ・現在再指定申請中	北京オリンピックに向けた環境の整備を実施
38	支援者育成	推進	スポーツ推進委員会活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種会議への参加や市主催・共催事業への協力等、スポーツ推進委員が地域スポーツの普及・推進を図るため活動を援助する。	・11月25日（水）に11月定例会議を実施した。	B (概ね順調に実施)		・定例会議2回、専門部会2回実施予定
39	支援者育成	補助	スポーツボランティアの育成	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントへ協力した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
40	支援者育成	推進	苫小牧駒澤大学との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	苫小牧駒澤大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
41	支援者育成	補助	アスリートフードマイスター養成支援	産業経済部 観光振興課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	・苫小牧市の特産品を使ったレシピコンテストの開催及びアスリートフードマイスターセミナー動画の作成と公開を行った。	A (順調に実施)		アスリートフードマイスターによる活動支援等を予定
42	PR	大人	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	ホームページや広報とまこまい、SNSで各スポーツイベントの情報発信を行った。	B (概ね順調に実施)	・秘書広報課と連携	同内容で継続実施
43	PR	大人	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	サークルガイドを6月に作成し、公共施設へ配布するとともにHP等で情報提供した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
44	PR	大人	保健センターを利用した運動教室・講座	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	教室・講座でのグループダイナミクスを利用した集団指導と個々の身体に合わせた個別指導を組み合わせた複合的なアプローチを図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から6月まで中止となったが、7月からオンライン教室を実施し、11月30日現在で運動教室20名、栄養教室15名の参加となっている。	B (概ね順調に実施)	・保健センターと連携して実施	新型コロナウイルス感染状況により、オンライン教室の継続、保健センターでの教室実施の再開を検討する。
45	PR	大人	健康に関するイベント実施	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市民から市民へ健康づくりの関心を広げていく契機となる事業を開催することにより、市民一人ひとりが健康を意識し、能動的かつ継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった健康フェスタ2020の代替事業として、各ポイント等をまとめたラジオ体操動画をYouTubeにアップし、生活習慣改善の意識付けを行った。	A (順調に実施)	・苫小牧ラジオ体操連盟等の関係団体と連携して実施	「健康フェスタとまこまい2021」を10月3日（日）に保健センター、市民会館の2会場で開催予定。特定保健指導対象者や健康情報を伝える健康情報伝道師向けに、講演会や健康状態を確認できる測定会を実施する。
46	PR	子ども	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しむようにしましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	毎月、子どものための行事案内を作成し、市内各所に配布するとともに、HP等で情報提供した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施